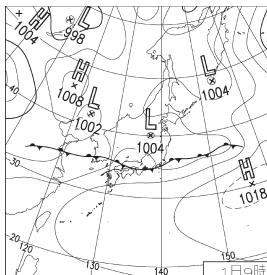


# 日々の天気図

— No. 54

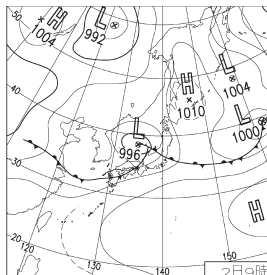
## 2006年7月

- ・4～11日、梅雨前線や台風第3号により、九州中心に西日本大雨。熊本県南阿蘇村316.5mm/24hなど。
- ・15日～24日、梅雨前線の活動活発。各地で記録的な豪雨。18日～24日の総雨量が宮崎県えびの市1281mm、鹿児島県さつま町1264mmに、気象庁は「平成18年7月豪雨」と命名。（気象庁予報部予報課）



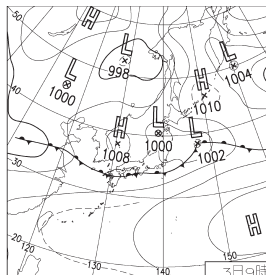
### 1日(土) 台風第3号発生

梅雨前線が東・西日本にのび、山陰から東北南部で大雨、栃木県鹿沼市58.5mm/1h、北海道と九州以西は概ね晴れ、宮崎県日向市、最高気温35.9℃、ヤップ島付近で台風発生。



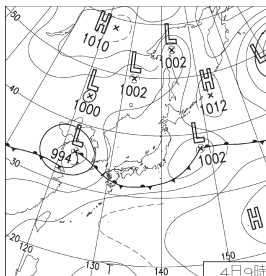
### 2日(日) 梅雨前線活発

前線は日本海の低気圧の東進と共に活発になりながら南下、夜には本州の南岸に。北海道・沖縄は晴れ、他は九州を中心に各地で激しい雨、熊本県菊池市菊池で91mm/1hなど。



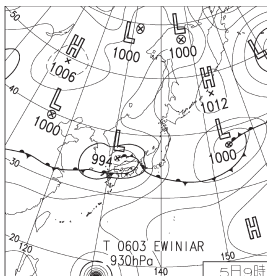
### 3日(月) 北と南で大雨

秋田県では低気圧の影響で秋田市仁別で221mm/24h、鹿児島県では梅雨前線の影響で午前中、所々で激しい雨、鹿児島中郷で67mm/1h、台風第3号眼を形成。



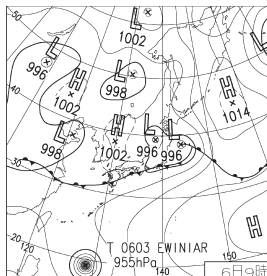
### 4日(火) 梅雨前線 夜九州北部に

暖かく湿った気流が入る九州北部は夜に雷を伴う50～70mm/1hの非常に激しい雨。東日本は晴れから次第に曇り、午後にはわか雨も。東北は弱い雨が残る。



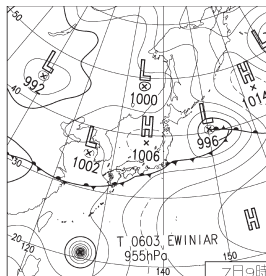
### 5日(水) 夜鹿児島県で猛烈な雨

低気圧や前線が日中九州～西・東日本太平洋沿岸を東進し、所々で非常に激しい雨。和歌山県日高川町川辺で98.5mm/1h、鹿児島県では夜、曾於市大隈で92.5mm/1h等の猛烈な雨。



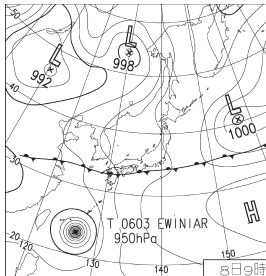
### 6日(木) 前線活動 小康状態

梅雨前線は九州南部から本州南岸にのびる。南西諸島で晴れの他は、ほぼ全国的に曇りや雨。非常に強い台風第3号はフィリピンの東をゆっくり北西進。



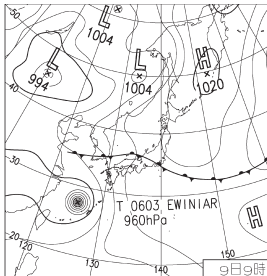
### 7日(金) 台風第3号 沖縄接近中

梅雨前線が九州南部から関東南岸に停滞。東北の日本海側と北陸で一時晴れた他は全国的に曇り、鹿児島県鹿児島中郷では明け方に74.5mm/1hの非常に激しい雨。



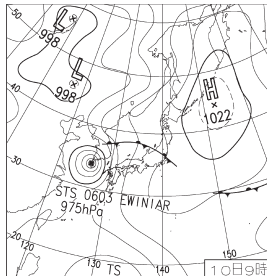
### 8日(土) 台風宮古島付近を北上

梅雨前線の北上に伴い九州北部で激しい雨、長崎県岐舌市芦辺では99.5mm/1hの猛烈な雨。台風は強い勢力を保ち久米島の西の海上を北上。那覇市で最大瞬間風速34.9m/s。



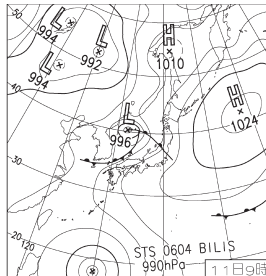
### 9日(日) 台風第4号発生

台風第3号は北上し、沖縄は暴風域を抜ける。梅雨前線による雨域は西日本から東日本へ移る。九州は北部を中心に晴れて最高気温は熊本市で平年より6.4℃高い36.9℃。



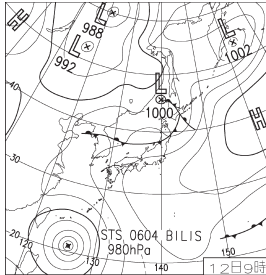
### 10日(月) 梅雨前線は北上し停滞

前線は北陸から関東北部に延びる。新潟県、東北南部、関東北部で雨。北海道南部で晴れの他はほぼ曇り。台風第3号が12時頃朝鮮半島に上陸。長崎県対馬市対馬空港で83.5mm/1h。



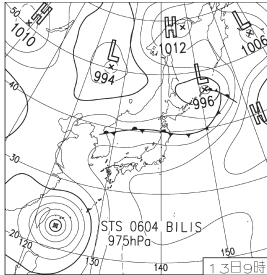
### 11日(火) 北海道今年初の真夏日

台風第3号から変わった低気圧の前線が東・西日本にのびる。北海道南部から東海地方まで雨、他はほぼ曇り。北海道留萌支庁羽幌町で最高気温が30.9℃。



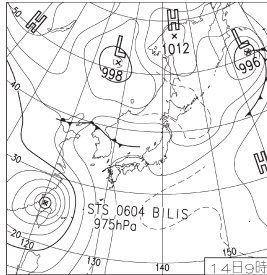
### 12日(水) 東京 今年初の熱帯夜

前線に沿って日本海側から暖かく湿った気流が入り、北陸から東北南部と北海道は雨。その他は概ね曇り。朝の最低気温は全国的に平年より高く、東京都心は26.2℃で今年初の熱帯夜。



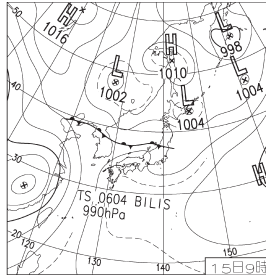
### 13日(木) 九州各地35℃超える

梅雨前線は東北北部に停滞。北海道南部から北陸で雨、西日本はほぼ晴れ、山形県遊佐町鳥海山で299mm/24h、新潟県阿賀町津川で136.5mm/24hの大雨。



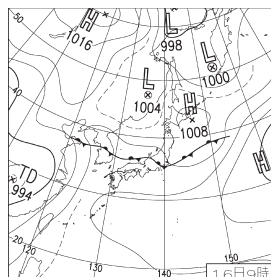
### 14日(金) 東海や関東甲信で高温

西～東日本中心に朝から晴れて気温上昇。最高気温は静岡県浜松市天竜で38.2℃。南から湿った空気が流れ込み、全国的に雨。南西諸島はうねりを伴った高波が続く。

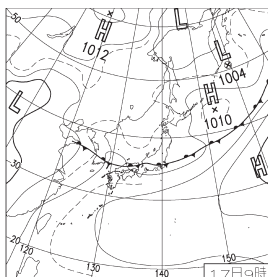


### 15日(土) 関東から西 猛暑続く

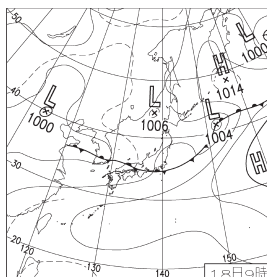
梅雨前線は北陸から東北に停滞し雨。関東～西日本は太平洋高気圧に覆われて猛暑と局地的な豪雨。石川県輪島市で72.5mm/1h、静岡県浜松市佐久間で最高気温38.4℃。都内で降雹。



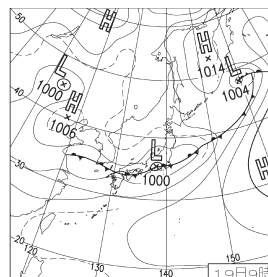
**16日(日)前線山陰沖から関東に**  
北海道も気圧の谷が通り、中国、近畿から北は雨や曇り。山陰で昼過ぎまで激しい雨、高根県隠岐空港42 mm/1h。北海道富良野市麓郷50 mm/1h。四国、九州は晴れ。



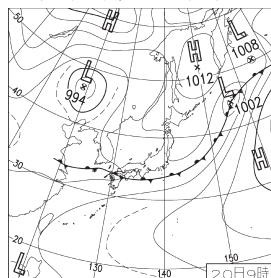
**17日(月)梅雨前線活発化**  
前線近傍の中国から東北南部は雨、山陰から甲信で昼前まで激しく降り、高根県出雲市佐田61 mm/1h。午後上空に寒気が入った北海道も雨、空知支庁幌加内町幌加内で55.5 mm/1h。



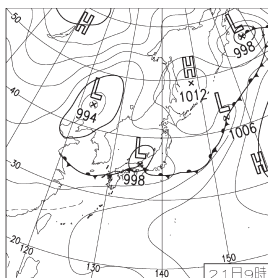
**18日(火)山陰・中部・北陸で大雨**  
梅雨前線が山陰から本州南岸に停滞し活動が活発。九州南部と南西諸島で概ね晴れた他は雨や曇り。鳥取県境港市境で295.5 mm/24h、長野県王滝村御嶽山で308 mm/24h。



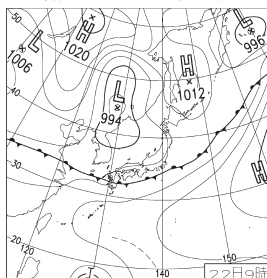
**19日(水)土砂災害相次ぐ**  
活発な梅雨前線の影響で東・西日本大雨が続く。長野県岡谷市で土石流、大連川の堤防決壊。熊本県、京都府、静岡県、栃木県でもがけ崩れ発生。マリアナ諸島付近で台風第5号発生。



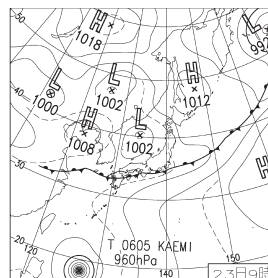
**20日(木)梅雨前線南下活発**  
九州北部や四国・近畿、伊豆諸島で豪雨。熊本県熊本空港61.5 mm/1h。東京都八丈町310.5 mm/24h。関東～九州北部では最高気温が平年より5～8度も低い5月上旬～下旬並の所も。



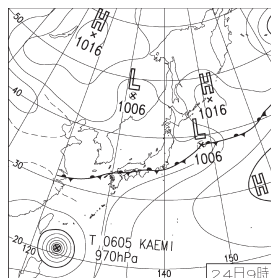
**21日(金)九州南部で大雨**  
近畿北部の低気圧から前線が九州にのびる。北海道の一部と南西諸島で晴れの他は雨や曇り。九州で猛烈な雨、宮崎県えびの市えびの91.5 mm/1h、310.5 mm/日。



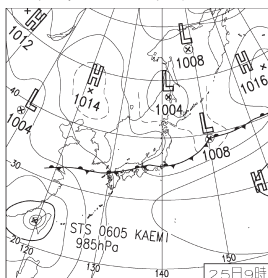
**22日(土)梅雨前線引き続き活発**  
前線は九州南部に停滞。中国・四国・近畿・東海・北陸で晴れた他は曇り。九州南部で大雨が続く。宮崎県えびの市えびので519 mm/日。北日本では日中5月中下旬並の気温の所も。



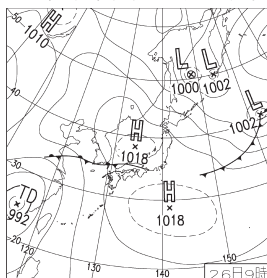
**23日(日)梅雨前線徐々に北上**  
明け方九州南部で降っていた激しい雨域は、九州北部へと北上。九州南部では降り始め(18日)からの雨量が、所々で1000 mmを超え、宮崎県えびの市えびのでは1281 mmに。



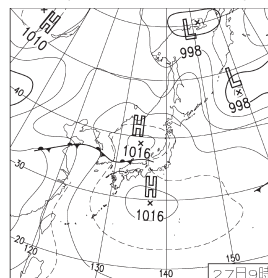
**24日(月)長野県で再び大雨**  
梅雨前線のゆっくり北上、九州～東北は日本海側を中心に雨。九州北部の雨は弱まるが、富山県、岐阜県、長野県では日降水量100 mm強の所も。最高気温も平年より5～8℃低い。



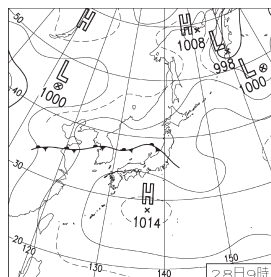
**25日(火)梅雨前線活動小康状態**  
梅雨前線は九州北部～関東にのびる。前線近傍や東北では雨や曇り。その他の地方は高気圧に覆われるなどして概ね晴れ。東京都心で明け方にかけて今年2度目の霧を観測。



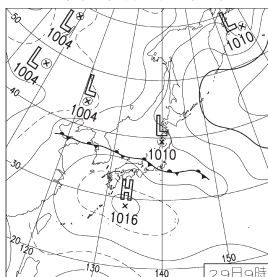
**26日(水)九州、四国 梅雨明け**  
梅雨前線の活動は弱まり、東北、北陸の一部で曇り。他はほぼ全国的に晴れ。西日本では午後大気の状態が不安定となり所々で雷雨。熊本県菊池市鞍岳113 mm/1h。



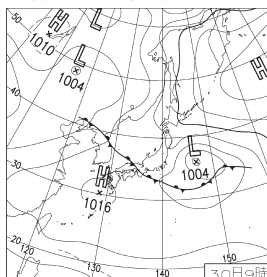
**27日(木)梅雨前線活動弱い**  
梅雨前線が山陰沖～中部地方に停滞。北陸～関東の所々で曇りや雨の他はほぼ晴れ。大気状態が不安定で愛媛県大洲市大洲で43.5 mm/1hの激しい雨。静岡県天竜市最高気温37.3℃。



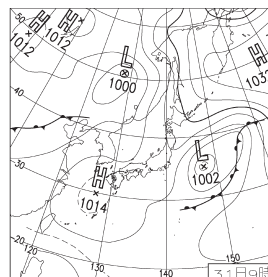
**28日(金)山形県で激しい雨**  
梅雨前線東北南部まで北上。東北、関東、北陸は曇りや雨。山形県真室川町差首鍋で45 mm/1h。その他の地方は概ね晴れて真夏日。長野市でシオカラトンボ初見。



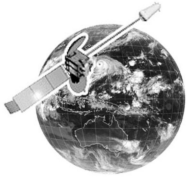
**29日(土)九州、四国で高温**  
北陸は前線の影響で20 mm/hの強い雨。東北北部の太平洋側も冷たい雨が続き、最高気温が20℃を下回る。関東以西では真夏日になった所が多く、高知県須崎市の最高気温38.3℃。



**30日(日)関東・北陸まで梅雨明け**  
日本付近では梅雨前線の活動が弱く午後消滅。三陸沖の低気圧の影響で日本の太平洋側は曇り。他は高気圧に覆われ概ね晴れ。東日本、近畿、中国の梅雨明けを発表。各地真夏日。

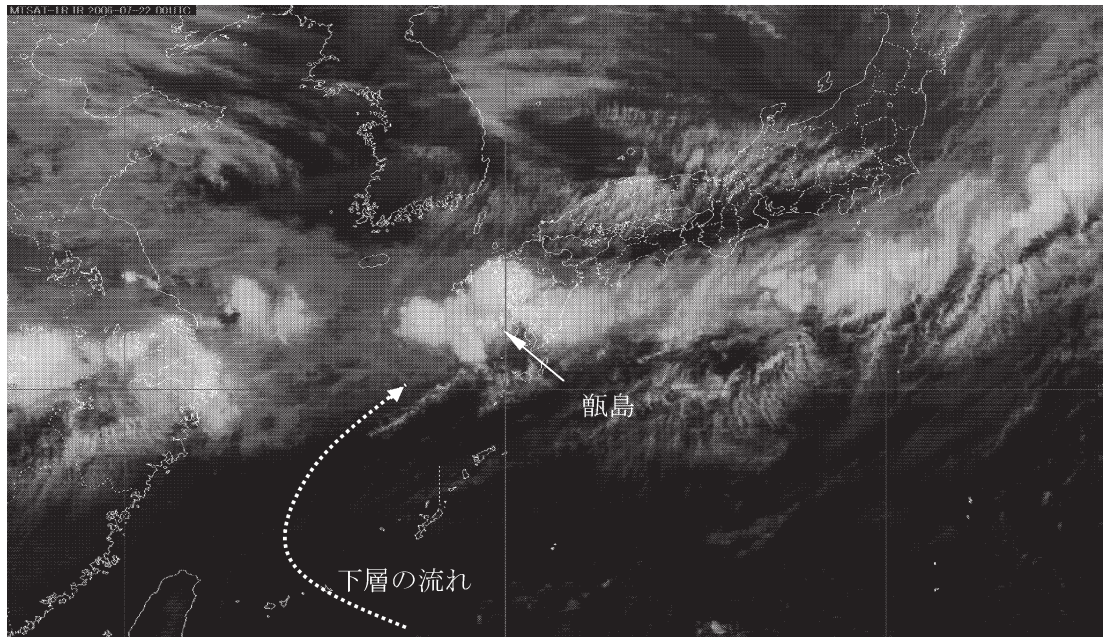


**31日(月)北から冷気流入**  
北と西から高気圧に覆われ、北海道から東日本の太平洋側と近畿の所々で曇り。他は晴れ。北・東日本の太平洋側では平年より5～7℃低い6月中、下旬並みの気温の所も。



## 今月のひまわり画像—2006年7月

### 梅雨前線上で発達した積乱雲



2006年7月22日9時の赤外画像

梅雨末期になると日本の南海上にある台風や太平洋高気圧の縁辺から梅雨前線に向かって暖湿気が流れ込み、その先端付近で積乱雲が発達して大雨となり大きな災害を発生させることが多い。

今年も梅雨末期にあたる7月15日から24日にかけて、九州から本州付近に停滞していた梅雨前線に、太平洋高気圧の縁辺を回るように暖湿気が流れ込み各地で大雨となった。

7月22日は九州南部を中心に日雨量が400 mm以上、多い所では500 mmを越える豪雨となり鹿児島県さつま柏原では10時までの1時間雨量は88 mmで猛烈な雨となった。

画像は猛烈な雨が降った頃の7月22日9時の赤外画像である。この画像によれば東日本の沿岸から九州地方にかけて梅雨前線が停滞し、特に九州付近では雲バンドが北側に折れ曲がり、この付近では破線で示すように太平洋高気圧の縁辺を回る暖湿気が次々に梅雨前線に流れ込み積乱雲が発達していた。

鹿児島県西海上にある甑島（こしきじま）列島付近から九州南部にかかる積乱雲の雲頂高度は約14 kmと非常に発達し、また甑島列島の西側の発達した積乱雲も次々と九州南部を指向していた。

（気象衛星センター）